



佐倉市の早期景気観測調査

令和8年度第1回(令和8年4～6月)の結果報告

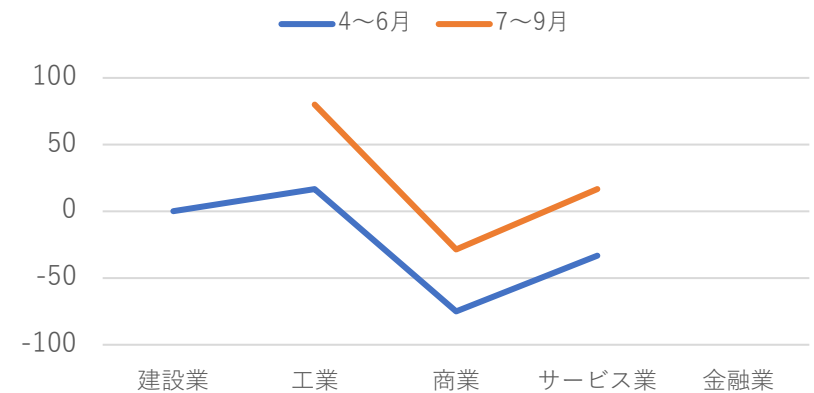
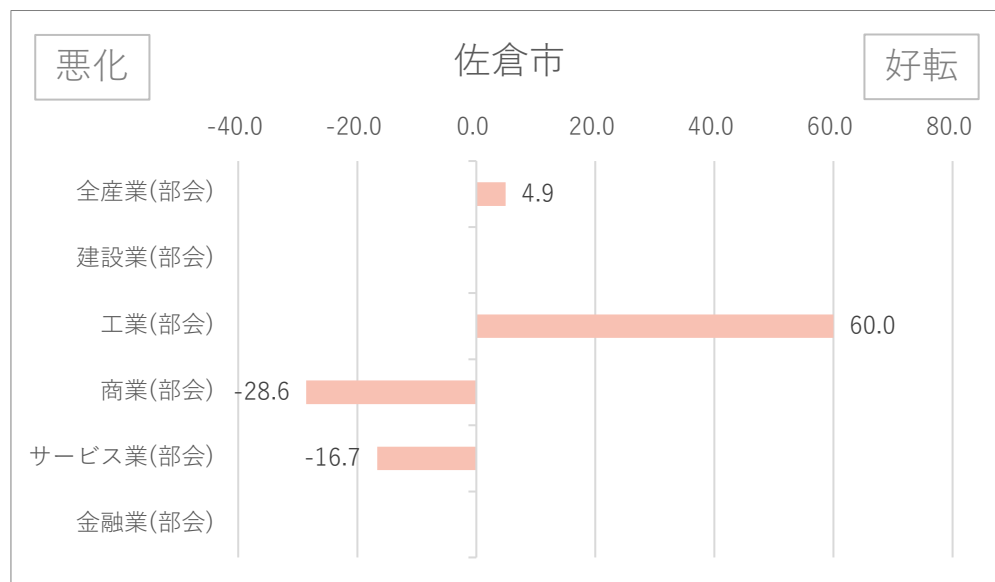
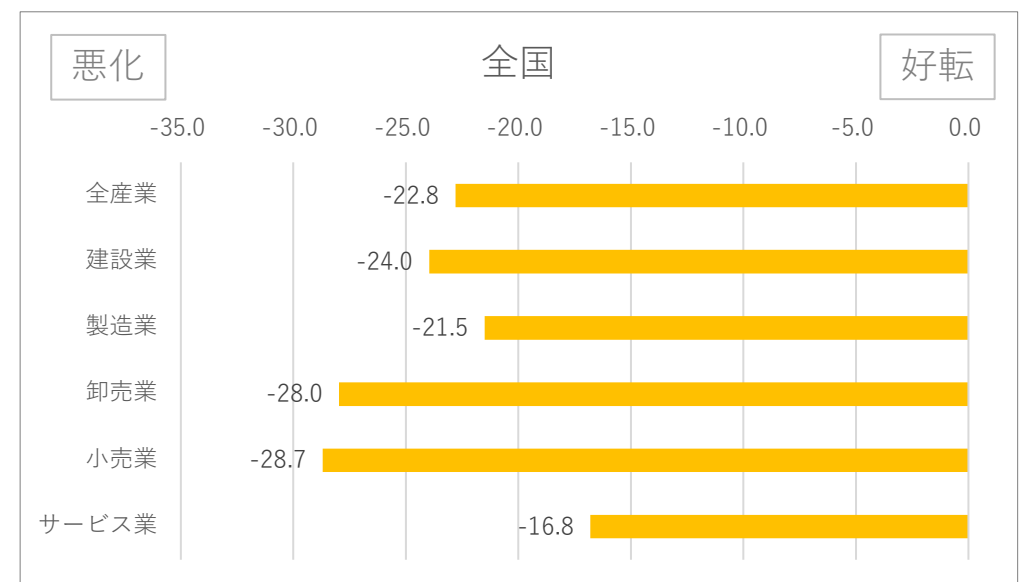


佐倉商工会議所

佐倉市の業況DIは、工業(部会)の大幅な好転とサービス業(部会)の改善により、全産業(部会)で前回の▲10.4から4.9へとプラスに転じた。商業(部会)はなおマイナス圏にあるものの、全業種がマイナスとなった全国調査と比べ、持ち直しの動きがみられる。

3か月後の先行き見通しは、工業(部会)が好転を見込む結果となった。商業(部会)はマイナス圏ながら改善し、サービス業(部会)もプラスに転じるなど、持ち直しが期待される。一方、全国的には物価高が消費を下押しし、慎重な見方が続く。

■3ヶ月後の先行き見通し

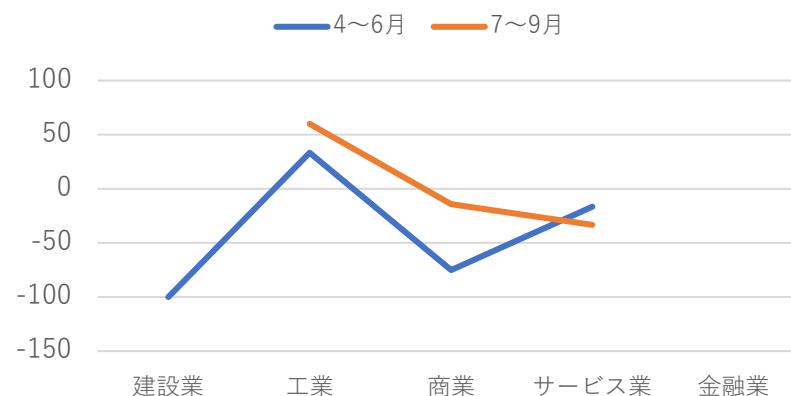
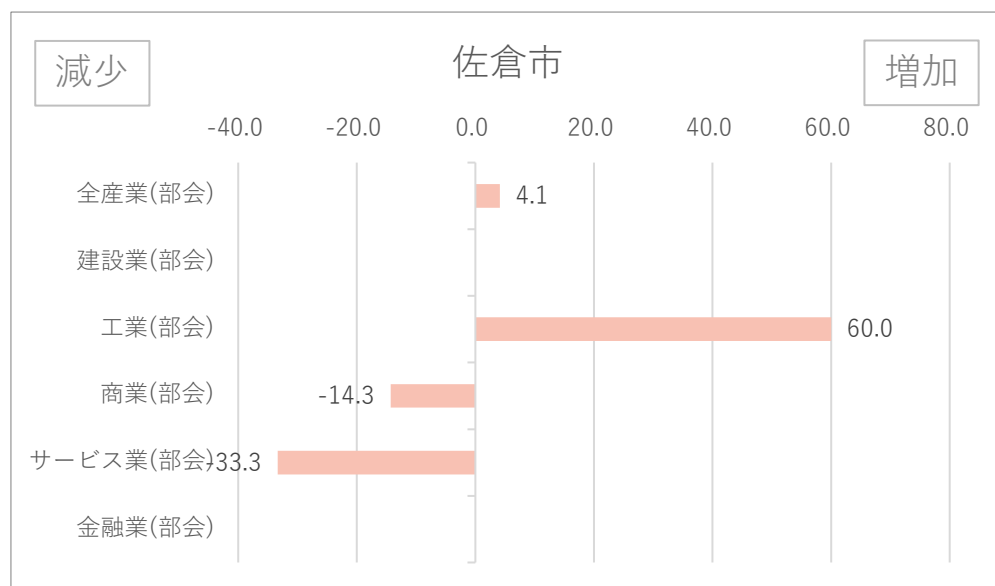
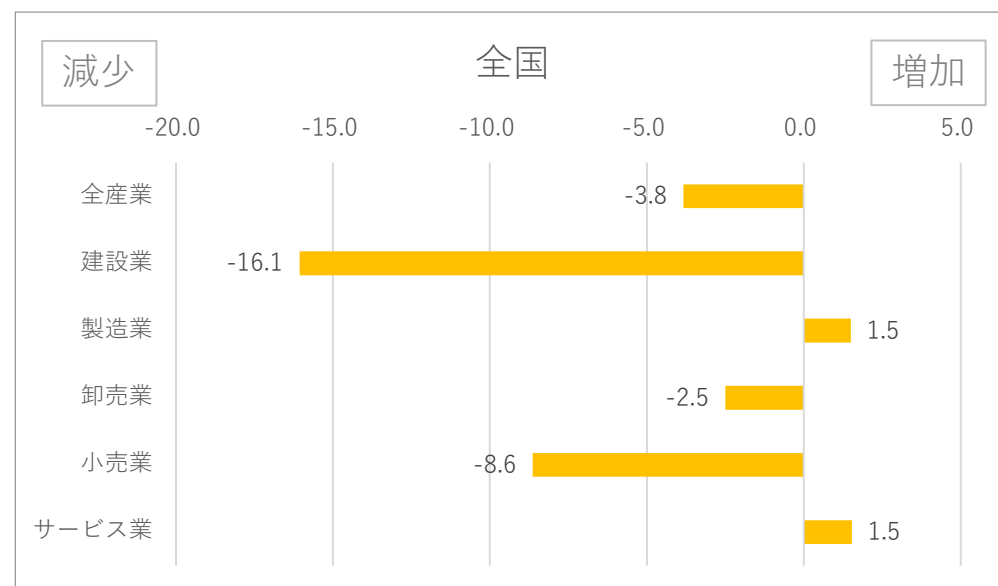


※日本商工会議所LOBO調査より

佐倉市の売上高DIは、工業(部会)の増加に加え、商業(部会)とサービス業(部会)の減少幅が縮小し、全産業(部会)で前回の▲31.3から4.1へプラスに転じた。全国調査は全産業でマイナスが続く一方、製造業とサービス業では増加がみられる。

3か月後の先行き見通しは、工業(部会)は増加幅の拡大、商業(部会)は減少幅の縮小を見込む。サービス業(部会)は減少幅が拡大し、業種によって見通しが分かれる。全国的にも物価高による節約志向が消費を抑え、売上環境には慎重な見方が続く。

■3ヶ月後の先行き見通し

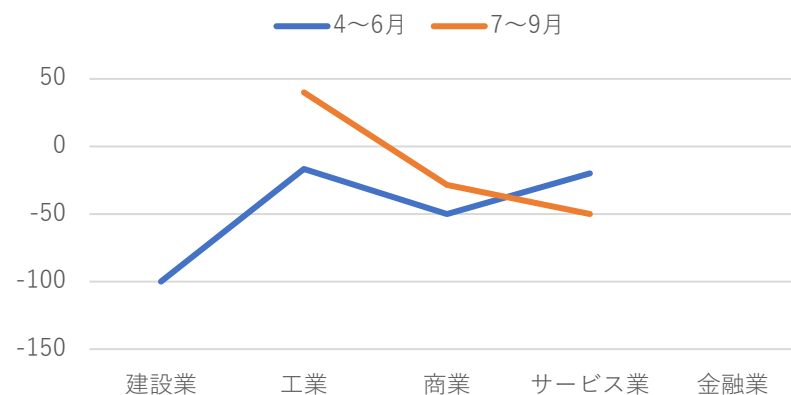
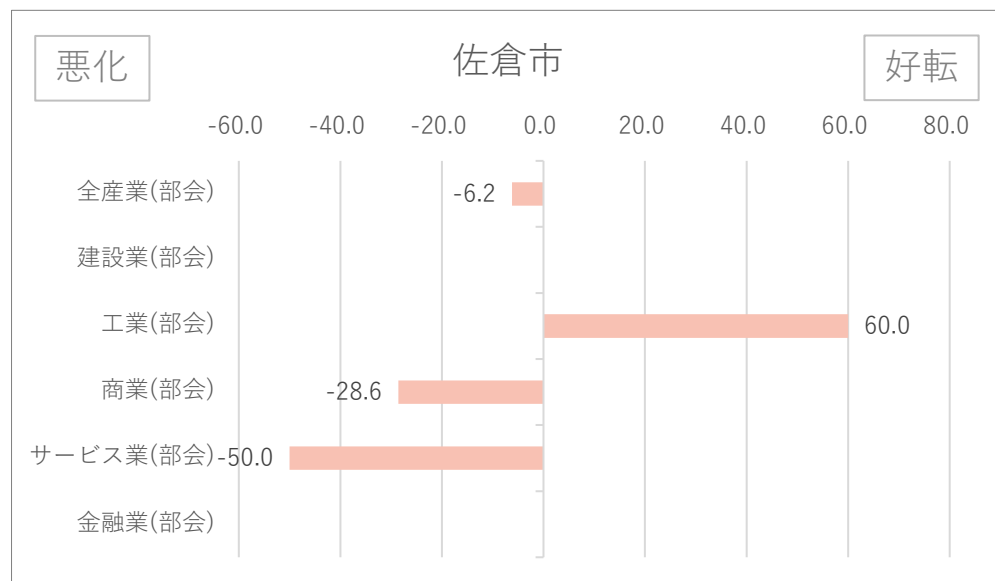
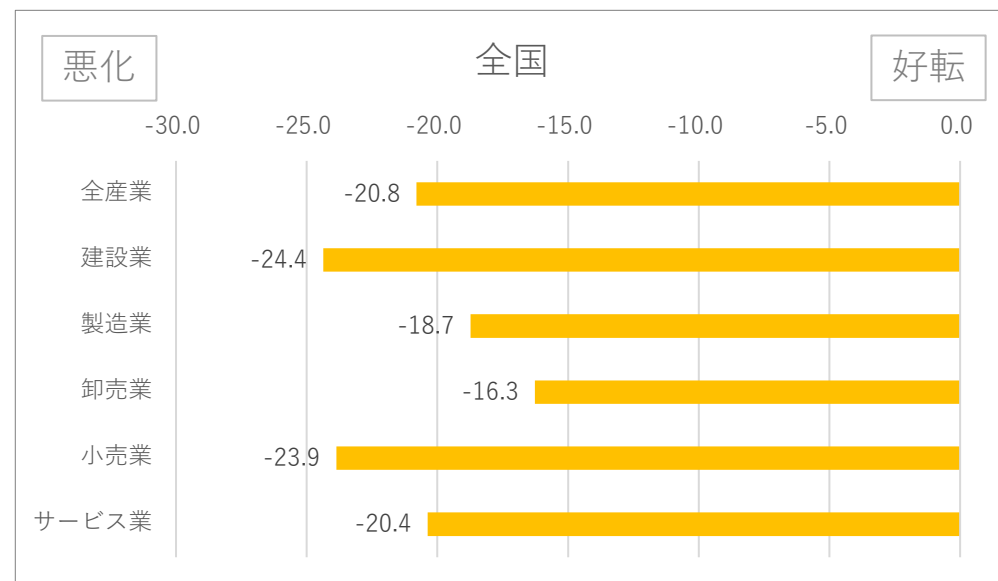


※日本商工会議所LOBO調査より

佐倉市の採算DIは、工業(部会)の好転と商業(部会)のマイナス幅縮小により、全産業(部会)で前回の▲33.3から▲6.2へと改善した。一方、サービス業(部会)は大幅に悪化した。全国調査では全業種がマイナスとなり、コスト負担の重い状況が続いている。

3か月後の先行き見通しは、工業(部会)がマイナスからプラスへ転じ、商業(部会)も悪化幅の縮小を見込む。一方、サービス業(部会)は一段の悪化が予想される。全国的にもコスト負担や消費マインドの弱さが利益率を圧迫し、先行きへの慎重な見方が続く。

■3ヶ月後の先行き見通し

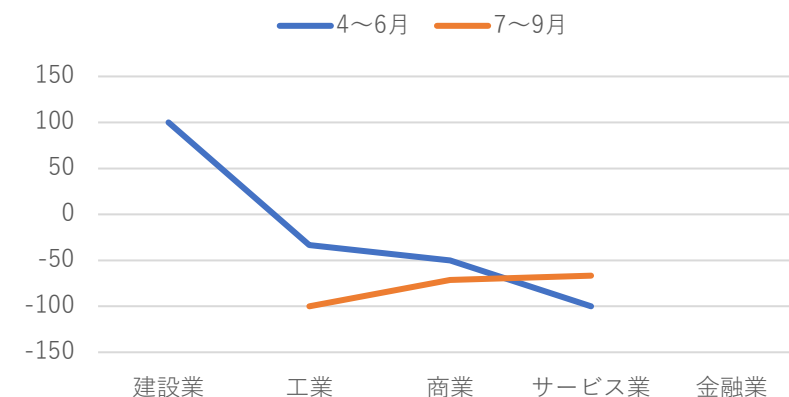
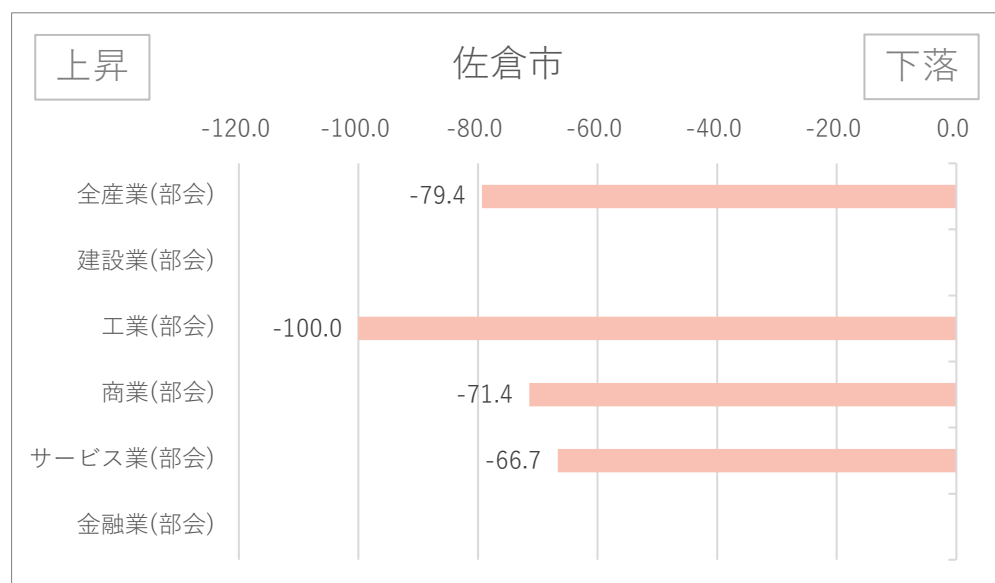
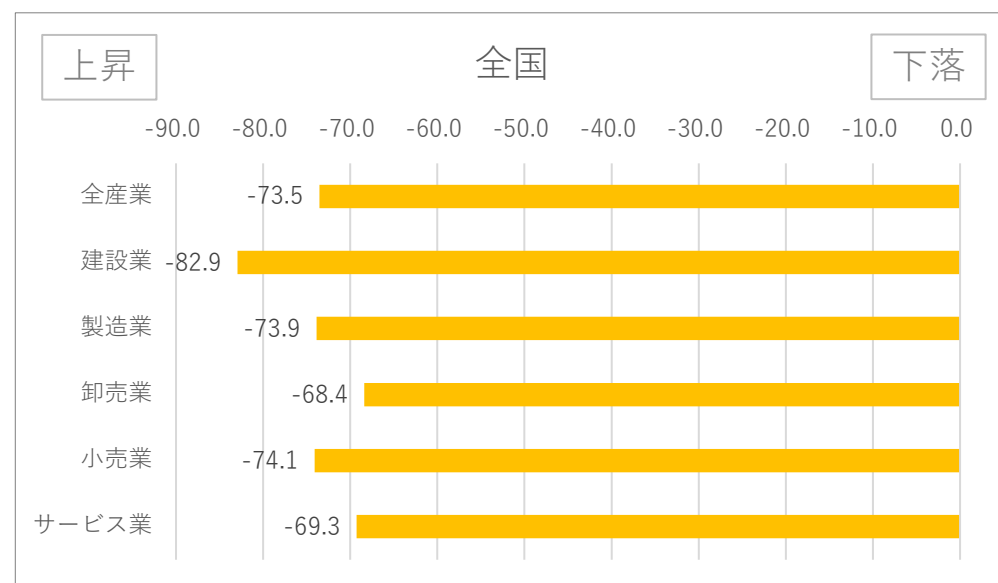


※日本商工会議所LOBO調査より

佐倉市の仕入れ単価DIは、全産業(部会)で前回の▲16.7から▲79.4へマイナス幅が大きく拡大し、仕入れ価格の上昇圧力が強まった。特に工業(部会)は大幅な上昇となり、商業(部会)とサービス業(部会)でも高い上昇感が続く。全国調査も全業種で強い上昇傾向を示している。

3か月後の先行き見通しは、工業(部会)と商業(部会)で上昇圧力の一段の強まりを見込む一方、サービス業(部会)ではやや緩和が予想される。全国的にも原材料・エネルギー価格や人件費の高止まりが続き、仕入れコストへの警戒感は根強い。

■3ヶ月後の先行き見通し

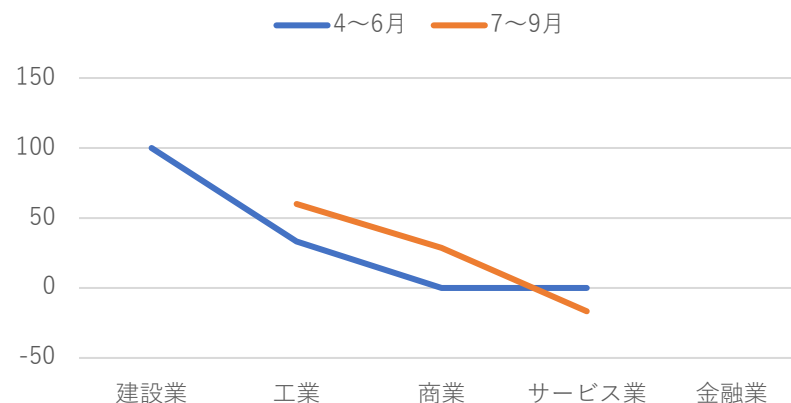
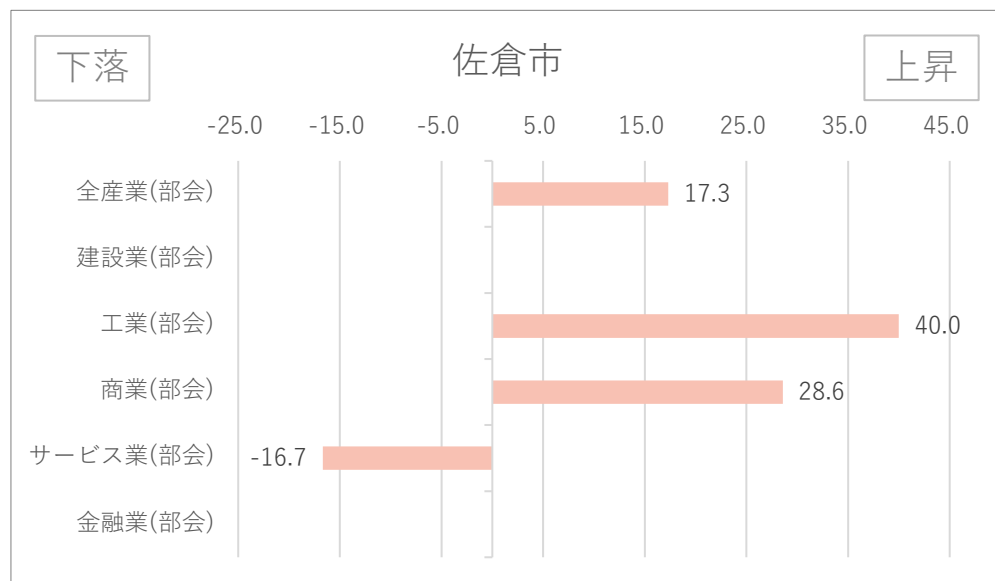
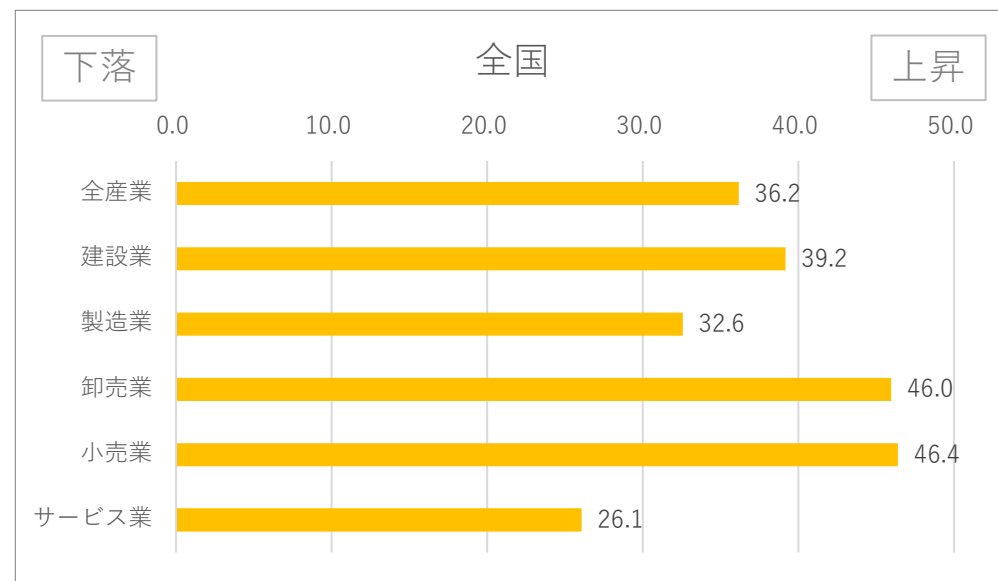


※日本商工会議所LOBO調査より

佐倉市の販売価格DIは、工業(部会)と商業(部会)で上昇基調が続く一方、サービス業(部会)は低下に転じ、全産業(部会)は前回調査から上昇幅が縮小した。全国調査では全業種がプラスとなり、特に卸売業と小売業で価格転嫁の動きが強くみられる。

3か月後の先行き見通しは、工業(部会)と商業(部会)で販売価格のさらなる上昇を見込む一方、サービス業(部会)は低下が予想される。全国的にもコスト増加分の価格転嫁が進む一方、物価高による消費者の節約志向との両立が課題となる。

■3ヶ月後の先行き見通し

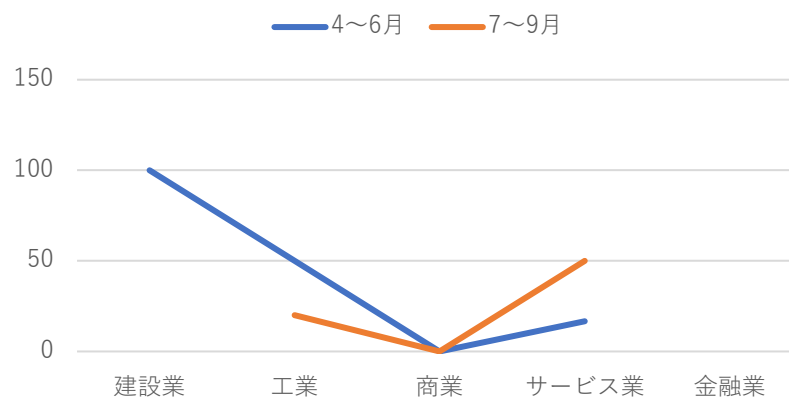
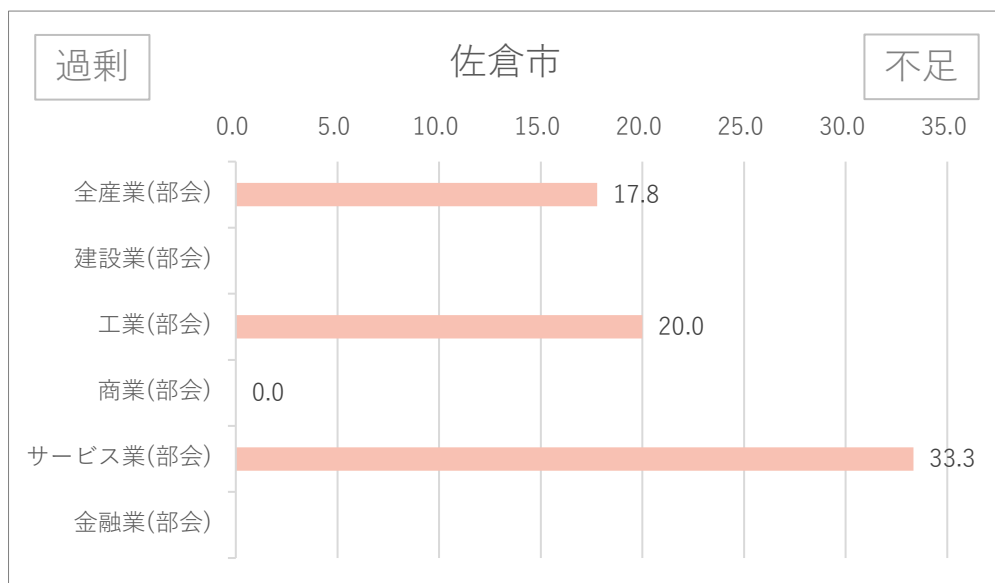
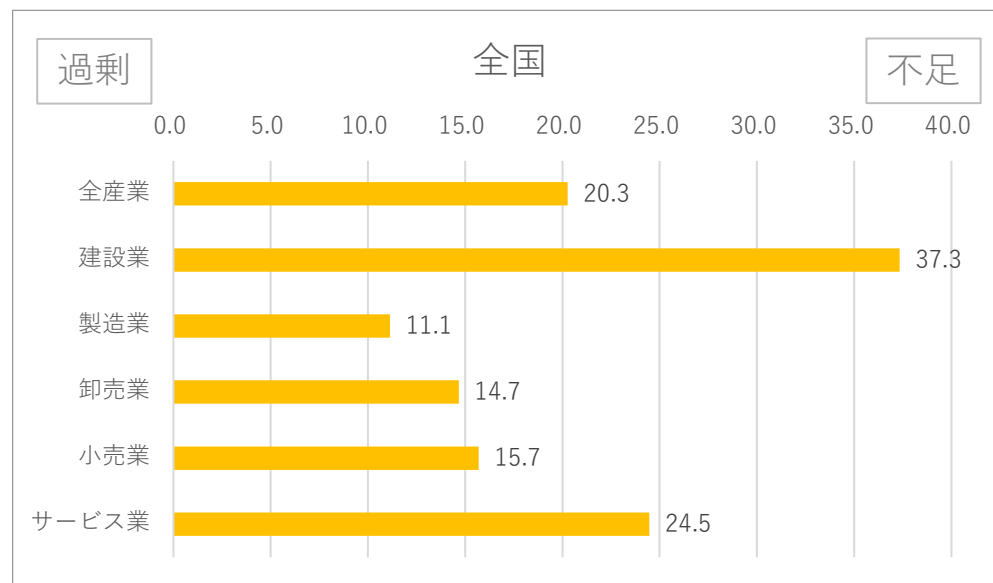


※日本商工会議所LOBO調査より

佐倉市の従業員DIは、工業(部会)とサービス業(部会)で不足感が続き、商業(部会)は横ばいとなった。全産業(部会)でも前回調査に続き人手不足の状況が示されている。全国調査でも全業種で不足感がみられ、特に建設業とサービス業で高い水準が続く。

3か月後の先行き見通しは、工業(部会)で不足感の緩和を見込む一方、サービス業(部会)では一段の深刻化が予想され、商業(部会)は横ばいとなる。全国的にも労働力供給の制約が続き、人材確保や賃上げ、生産性向上への対応が課題となる。

■3ヶ月後の先行き見通し

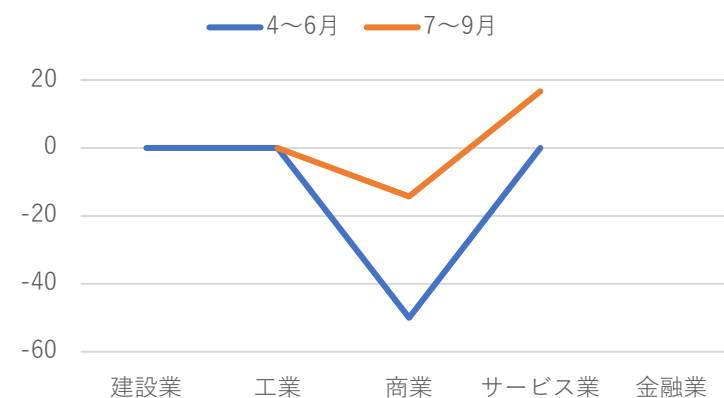
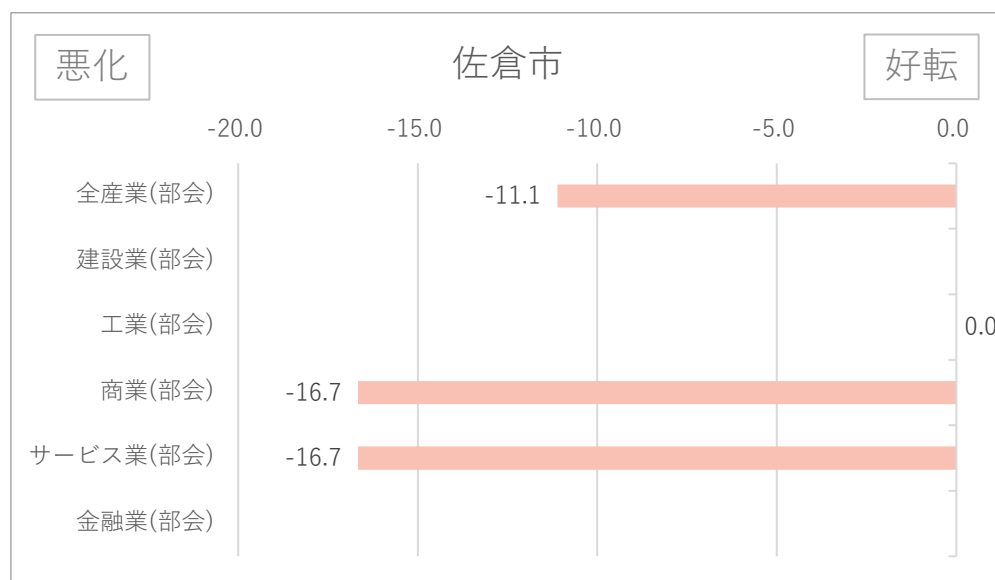
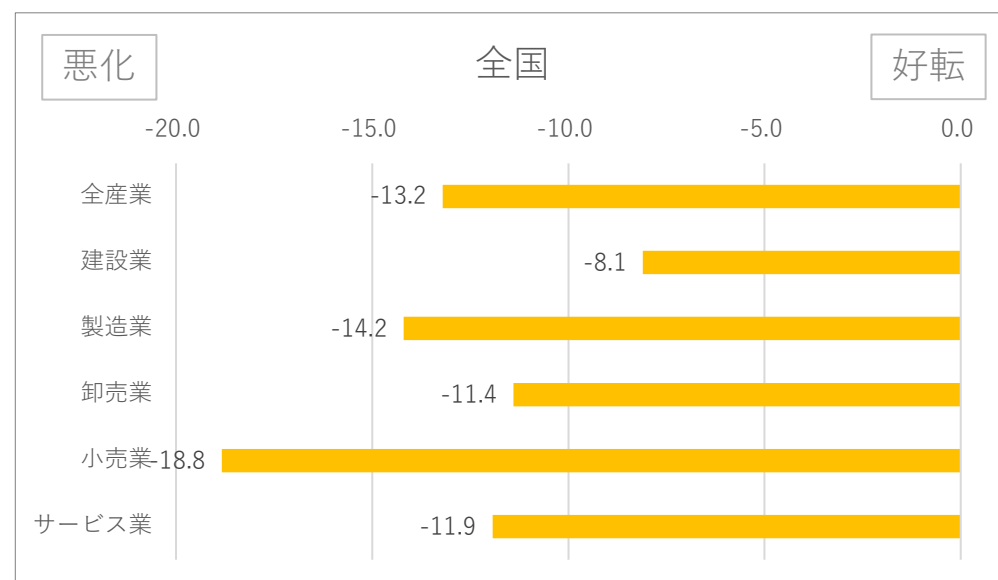


※日本商工会議所LOBO調査より

佐倉市の資金繰りDIは、工業(部会)が前回調査から改善して横ばいとなった。商業(部会)とサービス業(部会)はマイナスとなり、全産業(部会)で厳しい状況が続く。全国調査も全業種でマイナスで、特に小売業では物価高による消費の弱さが資金繰りを圧迫している。

3か月後の先行き見通しは、商業(部会)で悪化幅の縮小、サービス業(部会)でプラスへの転換を見込む一方、工業(部会)は横ばいとなる。全国的には原材料費や人件費の上昇に加え、金利動向も資金調達の負担となり、慎重な資金管理が求められる。

■3ヶ月後の先行き見通し



※日本商工会議所LOBO調査より

事業環境に影響を及ぼしている、または今後影響が生じる可能性がある「外部環境の変化（外的要因）」についてお聞かせください。

9

部会	コメント内容
建設業部会	
工業部会	<ul style="list-style-type: none">・ 原材料費高騰・ 原材料の値上げと供給、為替動向・ 中東情勢の影響による石油関連製品の値上げや一部で発注制限などが発生
商業部会	<ul style="list-style-type: none">・ 教科書販売において、児童生徒の減少が売り上げの減少に直結する。
サービス業部会	<ul style="list-style-type: none">・ 建設業および製造業の鈍化・ 原材料の高騰や為替変動について、引続き懸念している。
金融業部会	

部会	コメント内容
建設業部会	
工業部会	
商業部会	・教科書の価格は国が決めるので、人件費や燃料費などの物価高などに対応が年単位で遅れる。
サービス業部会	・原油価格や各種資材価格の上昇により事業経費が増加しています。又ドライバーをはじめとする人材不足が深刻で人材確保に苦慮しています。又私どもが使用してます特殊車両(パッカー車)などの納期が長期化しており老朽車両の更新に支障をきたしています。私どもの仕事は公共性の高い事業でありますので人材確保対策や設備更新支援など事業継続に向けた施策の充実を要望いたします。
金融業部会	

早期景気観測とは

地域の中小企業が「肌で感じる足元の景況感」や「直面する経営課題」（採用、設備投資、賃金動向等）を調査し、その結果を集計・公表するもの。QUICK SURVEY SYSTEM OF **LOCAL BUSINESS OUTLOOK** からLOBO調査などと呼ばれる。

調査の目的

企業を取り巻く経営環境や直面する課題等の現状を示すデータとして、経済対策に関する政策提言・要望活動などに活用すること。

調査の方法

調査依頼をメールにて一斉配信、Googleフォームのアンケートに対する回答入力による回収。

景況判断指数（DI値）とは、業況・売上・採算などの各項目についての判断の状況を表す数値。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。【景況判断指数＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）】

調査回答構成比

	商業 部会	工業 部会	建設 業部会	サービス業 部会	金融業 部会
部会員数 構成比	33.12%	6.91%	23.42%	33.33%	3.22%
回答数 構成比	38.89%	27.78%	0.00%	33.33%	0.00%

※部会員数構成比は令和8年3月31日現在（部会未加入2件を除く）

調査対象期間・回収期間

調査対象期間：令和8年4月～6月（3ヶ月間）

回収期間：令和8年7月1日～7月31日（Googleフォーム）